

憲法擁護
核兵器廃絶
狭山闘争勝利

東京平和運動センター ニュース

NEWS

■2012年 11月号 月1回発行 116号

■発行所：東京都港区芝浦3丁目2番22田町交通ビル
東京平和運動センター

■発行人：本橋 益男 TEL・FAX 03-5443-4110



「10.13 さようなら原発 1000万人アクション」で
大間原発反対の闘いの訴え
【日比谷野外音楽堂公園 2012. 10.13】

目	次
オスプレイ配備反対	2
第49回護憲大会	3
三多摩反核座り込み400回を振り返って（連載3）	4
第32回不戦を誓う三多摩集会	5
狭山事件の再審を求める市民集会	6
活動報告 今後の日程	7

11.4 「止めるぞ！オスプレイの沖縄 配備 許すな！低空飛行訓練集会」に 4,000人が参加(芝公園)

10月1日に、垂直離着陸輸送機MV22オスプレイが、沖縄県宜野湾市の普天間飛行場へ強行配備されたことに抗議して11月4日、東京・芝公園を会場に「止めるぞ！オスプレイの沖縄配備 許すな！低空飛行訓練」集会が開催され、好天に恵まれる中、全国から約4,000人が参加しました。集会は、オスプレイの沖縄配備に反対する首都圏ネット（首都圏ネット）と平和フォーラムが主催しました。

初めに主催者あいさつとして、平和フォーラムの藤本泰成事務局長が、「アメリカで飛ばすことのできないオスプレイが、なぜ日本で飛ぶのか。アメリカは今だ、日本を『敗戦国・日本』と見ているのではないかと訴えました。続いて、首都圏ネット参加団体から、ピースボートの野平晋作共同代表が、「沖縄配備に強く反対を訴えることで、低空飛行訓練の反対の声につなげることで、これを全国の運動として展開したい」と力強く発言しました。

地元である沖縄から、自ら普天間飛行場ゲート前で抗議活動を続けてきた、沖縄平和運動センターの山城博治事務局長が参加。「頂点に達した憤りや悲しみ。沖縄は日米共同の軍事植民地となっている。日米両政府の姿勢が変わらない限り、沖縄の怒りがやむことはない」と厳しく訴えました。同じく沖縄から駆けつけた宜野湾市議会議員で普天間米軍基地から爆音をなくす訴訟団の桃原（とうばる）功事務局次長が、米兵が酔っ払って住居に侵入し、寝ていた中学生に暴力をふるったとされる事件についてふれて、「県民は安全に外を歩けないどころか、家で寝ることもできないのか」と、怒りをあらわに発言しました。



集会では問題提起も行われ、非核市民宣言運動・ヨコスカの新倉裕史さんは、自ら作成したパンフレットを紹介しながら、低空飛行訓練の危険や問題点を指摘し、アジア女性資料センターの本山央子さんが、米兵による性暴力事件について、「軍隊と性暴力は切っても切れない」として、女性への性暴力が後を絶たない背景に、女性への差別や裁く法律がない点を厳しく指摘しました。

オスプレイが一時駐機された山口県・岩国からのメッセージが読み上げられた後、参加団体からの発言として、静岡県平和・国民運動センターの鈴木孝雄事務局長から、地元での運動を積極的に展開するという決意表明があり、沖縄の闘いと連帯する東京東部集会実行委員会の田附高正さんから、首都圏での行動について提起を受けました。



集会の最後に、「ムーブメント三線クラブ」の演奏に合わせて、「沖縄を返せ」を全員で歌った後、シュプレヒコールをあげた参加者は、神奈川県平和運動センターによる小原慎一事務局長の閉会あいさつを聞きながら、アメリカ大使館近くを通り、解散地点の六本木・三河台公園をめざしてデモ行進へ出発しました。（平和フォーラム報告転載）

「生命の尊厳」をもとに、原発も基地もない平和な社会へ 憲法理念の実現をめざす

第 49 回大会(護憲大会)開催

11 月 9 日から 11 日、山口市で、「『生命の尊厳』をもとに、原発も基地もない平和な社会へ 憲法理念の実現をめざす第 49 回大会(護憲大会)」が、維新百年記念公園をメイン会場として開催されました。

江橋実行委員長は「憲法理念の実現のためにも東アジアの中で相互に連携し、尊重しあう関係を作り上げること、未来の展望が切り拓かれることを期待したい」とあいさつ。瀬戸内県実行委員長は大会を山口で開催することの意義とともに「『護憲』を『愛憲』と置き換え、憲法を愛することが護憲運動の方向性であり、それを全国へ、国際社会へ発信していきたい」と述べました。

大会には、東京からも 70 名が参加しました。

第 49 回大会(護憲大会)アピール

2012 年 11 月 11 日

私たちは、上関原発建設や米軍岩国基地に対して長年とりくみを続けてきた山口県の山口市に集い、憲法理念の実現をめざす第 49 回大会(護憲大会)を行いました。

昨年 3 月 11 日の東日本大震災・福島第一原発事故による未曾有の被害は、私たちに改めて「生命の尊厳」のために、脱原発社会への変革や、憲法理念の実現を問いかけました。

しかし、事態は、震災からの復興を前に、「領土問題」という形で、東アジア諸国との関係を悪化させ、偏狭なナショナリズムを煽り、軍事力増強や集団的自衛権の行使を是としたり、憲法理念の破棄や変更、原発の維持・存続を図ろうとする政治勢力が、与野党を問わず跋扈しています。

1945 年の敗戦まで、日本は、アジア・太平洋諸地域に対する植民地支配と侵略戦争によって、世界の人々に多大な被害をもたらし、国内でも原爆

をはじめ多数の犠牲者を生み出したことを、私たちは決して忘れてはなりません。その反省のもとに、日本国憲法は、前文で「政府の行為によって再び戦争の惨禍が起ることのない」ように、「平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して、われらの安全と生存を保持しようと決意」しました。

70 年近く経ても、なお未解決の問題が山積しているにもかかわらず、歴史や憲法の理念を無視した事態を、私たちは許してはなりません。

そのためにも、憲法の生存権のもと、震災・原発事故・放射能被害などの補償と復旧のためにとりくみを進めましょう。脱原発・温暖化克服の環境づくりとライフスタイルを築きましょう。署名をはじめとした「さようなら原発 1000 万人アクション」のとりくみとともに、脱原発基本法の制定を実現しましょう。

日中国交正常化 40 年、日朝平壤宣言 10 年のいま、日本の戦争責任を改めて謝罪・反省し、日本政府に「過去の清算」や朝鮮民主主義人民共和国との国交正常化、平和・友好に向けた対話と共存のとりくみをさせましょう。また、アジア蔑視の差別的な歴史観と貧困な人権感覚を払拭し、多民族・多文化共生社会をめざしましょう。朝鮮学園に対して一刻も早く高校無償化を適用させましょう。国際人権条約を完全批准し、国内人権機関の設立をはじめ、すべての人に差別のない人権を保障する制度を確立しましょう。

「武力で平和はつくりえない」という立場で、9 条をいかして平和を築きましょう。日本の安全保障にとって、在日米軍基地の機能がどのようなものであるのか、徹底して検証し、日本と東北アジアの非核化・軍縮をすすめましょう。米軍再編や原子力空母母港化、危険なオスプレイ配備をやめさせましょう。復帰 40 年でも米軍・米兵の横暴がつづく沖縄の内実を県民とともに万感の怒りを込めて問い、普天間をはじめ基地を縮小・撤去させましょう。災害救助隊の整備など、平和基本法を制定しましょう。

「人間の安全保障」を確立し、「格差と貧困」をなくしましょう。東アジアや世界、日本各地の平和・人権・環境の運動をすすめる人々と連帯する大きなネットワークを築きましょう。いまこそ「つなげよう 子どもたちの未来へ」を胸に刻んで。

反核座りこみ 400 回を振りかえって

出田光雄さんの報告

(前三多摩平和運動センター事務局長)

(その3 最終回)

今日は砂川闘争について話す余裕がありませんが、米軍立川基地の拡張に反対し、現地砂川の農民と当時の三多摩労協、総評・社会党を含めた労働者・学生の連帯によって流血の闘いとなりましたが、基地拡張を断念させ、基地を返還させました。これは、今日の立川の発展にもつながっていると思います。砂川闘争でも、地元である三多摩労協は大きな役割を果たしてきました。私は過去、座り込みと砂川闘争の関係について次のように書いています。

「このような永きにわたり被爆地でもない東京・三多摩で反核座り込みが継続できているのは、「原爆基地を許してはならない、平和と民族の独立のために、たとえブルドーザーの下敷きになろうとも、この土地をアメリカに渡すことはできない」「土地に杭は打たれても、心に杭は打たれない」と固い決意のもとで闘った砂川闘争の勝利の経験と歴史を受けつぎ、反戦・平和・反基地・反核闘争の発展に力を注いできた「三多摩労協」に結集した諸先輩の活動の成果が結実したものと思います。この諸先輩が残した伝統を現在の私たちが簡単に消すわけにはいきません。核をめぐる現状をみると、そう簡単に世界は動きそうにありませんが、あきらめて行動をやめれば、情勢を変えることはできません。」

年代で考えますと砂川闘争があって、原水禁大会への参加があって今日があるとみた方がいいかもしれません。

三多摩ではこの毎月の座り込みの実施だけでなく、その時々的情勢をふまえ、関連する取り組みとして「反核座りこみ 100 回記念」の行事や、10 周年記念集会の開催、200 回記念集会、20 周年記念集会、300 回記念集회를開催してきました。

これだけではなく、石野事務局長就任後の 1981 年、太平洋戦争開戦の 12 月 8 日を「不戦の日」とし「第 1 回不戦を誓う三多摩集会」を開催し、以後毎年 12 月 8 日前後に不戦を誓う集회를開催してきました。これも今年 32 回目を迎えます。この取り組みも座り込みの継続と関係があると思って

います。今日はそれぞれ記念の取組の内容をすべて話すことはできませんが、200 回記念と 20 周年記念の取組について報告したいと思います。

100 回記念の取組は、1988 年 1 月 6 日、三鷹市役所中庭で 142 名が参加し、長崎被爆連から寄贈された赤地に白抜きで「被爆者援護法制定、軍事基地撤去、核廃絶」と書かれた横断幕を前に整然と座り込み、報告や挨拶のあと最後に全員がガス風船を空に飛ばしました。10 周年記念の取組は、1989 年 12 月 6 日、立川駅前での 1 時間交代で 3 時まで、280 人が参加した座り込みの実施と、午後 6 時 30 分から東京都立川社会教育会館ホールで、広島から原水禁代表の森瀧市郎先生を迎え 1000 名余の参加で成功裡に終わっています。前日の 12 月 5 日には三多摩統一座り込みを実施し、12 の地域で 300 人余が参加しています。

200 回記念の取組は 1995 年 11 月 6 日に羽村で開催しました。12 時 15 分から 45 分まで、座り込みを羽村駅前で 41 名の参加で実施し、夕方から羽村の水木公園で「フランス・中国の核実験糾弾、核兵器廃絶、沖縄米兵の少女暴行事件抗議、米軍基地撤去三多摩集会」として 200 回記念集회를開催しています。

1995 年は中国・フランスが世界的な反対の声を無視し、核実験を強行した年で、中国が 5 月 15 日と 8 月 17 日、フランスが 9 月 6 日、10 月 2 日、10 月 28 日に実施しました。

フランスが核実験を強行した最初の日の 9 月 6 日は、198 回目となる座り込みの日で、昭島市役所前に 50 名が参加し、抗議の声をあげました。この一連の核実験については、抗議と中止を求め 9 月 9 日に、八王子と小金井の東西 2 コースから立川への求心デモも各 100 名余の参加で実施しています。

沖縄問題は、9 月 4 日には沖縄本島において米兵 3 人による少女横行事件が発生し、沖縄県民の怒りは頂点に達し、10 月 21 日には「米兵による少女暴行事件を糾弾し、地位協定の見直しを要求する沖縄県民総決起大会」が開催され、85,000 人を集めた抗議集会となっています。この沖縄の事件は横田基地を抱える三多摩にとっても重要課題であり、自らの問題として位置付け、200 回記念集会の名称にとりいれました。集会後は第 2 ゲートを通して福生駅前までデモ行進を行っています。

20 周年記念集会は 1999 年 12 月 2 日、立川市民会館小ホールで、第 19 回不戦を誓う三多摩集会とかねて実施しています。この年は 9 月 30 日に東海村の核燃料工場「JCO」で臨界事故が発生し、3 人の作業中の従業員は勿論のこと周辺にいた多くの労働者が被爆するという重大事故となりました。絶対に起きるはずのない事故が起こったことに、事故の重大さがあり、原子力発電の危険性が増大していることを踏まえ、日本における脱原発の流れを作り出すことを展望した集会にしようとメインの講演のテーマを「原子力発電と生活を考える」とし、ルポライターの明石昇二郎さんの講演を受けました。反核座り込みは 12 月 6 日、清瀬駅前で 18 人の参加によって実施しています。

300 回記念の取組は 2004 年 3 月 9 日に具体化しています。一つは統一座り込みの実施です。三多摩 7 地区で 12 時 15 分～45 分までの座り込みを実施しました。メインの立川に 24 名、河辺に 30 名、八王子に 30 名、三鷹に 43 名、小平に 15 名、府中に 25 名、調布に 18 名が参加し、合計 185 名の参加となっています。記念集会は立川市民会館小ホールで開催し、本日と同じ神田香織さんの「チェルノブイリの祈り」の講談でした。

30 周年記念については、2009 年 12 月 9 日、立川駅で 1 時間の座り込みを実施し、今日の 400 回到達集会を迎えています。

以上が 400 回を振りかえっての報告ですが、報告になっているかどうか自信がありませんが、反核座り込みはこれで終わりではなく、今日を新たな闘いの出発点にさせていただきたいと思います。今まで追求してきた「核も戦争のない平和な 21 世紀」を実現するための諸行動とともに、今日、大きな課題となっている原発に依存しない社会の実現を目指す活動を強化していかなければなりません。

16 日開催された脱原発集会には 17 万人のひとりが結集しています。また大飯原発の再稼働に反対する毎週金曜日の夕方からの首相官邸への抗議行動にも 20 日の金曜日には 9 万人が参加していることが報じられています。

「核と人類は共存できない」ことは原水禁運動の大原則です。核兵器の廃絶は勿論のこと原発に依存しない社会を実現していくため、道は遠くてもこれからも力を合わせて頑張ることをお願いし、報告を終わります。 (おわり)

三多摩反戦集会 (2012. 10. 22 福生公園)



小原神奈川平和運動センター事務局長は、横須賀の原子力空母母港化反対、厚木基地の爆音訴訟などについて報告、連帯を訴えた。

この後、横田基地に向けて参加者はデモ行進。

第 32 回不戦を誓う三多摩集会

12.11(火) 18:00 立川市民会館

主催

三多摩平和運動センター

1941 年 12 月 8 日は、日本が真珠湾に奇襲攻撃を行い、先の太平洋戦争の口火を切った日で



す。……わたしたちは、二度と戦争を繰り返さないことを誓い、第 32 回不戦を誓う三多摩集会を開催します。今回は、米軍基地の 74% が集中する沖縄に焦点をあて、「ラブ沖縄@辺野

古・高江・普天間」のドキュメンタリー映画を上映します。……鑑賞を通じて今後の平和運動に寄与できればと企画しました。

(呼び掛け文抜粋)

狭山事件の再審を求める市民集会 10.30 日比谷野音を埋め尽くす

(集会決議)

狭山第3次再審の闘いはいよいよ大きな山場を迎えた。2009年から始まった三者協議において、弁護団の要求と東京高裁の勧告によってこれまで80点以上の証拠が開示された。特に、開示された石川さんの逮捕当日の上申書と脅迫状の筆跡の違いは一目瞭然だ。また、開示された捜査報告書や取調べ録音テープによって石川さんの自白の疑問、捜査の問題も浮かび上がっている。犯行現場に血痕はなく、証拠物に石川さんの指紋がないことなど、自白に頼った冤罪の構造がますます明らかになった。更に先般、弁護団は自白によって発見された時計のバンド穴の状態から書庫の時計が被害者のものではないことを明らかにする新証拠を提出した。万年筆、鞆、腕時計の疑問も深まっている。

一方、検察官は、筆跡、スコープ、殺害方法について、弁護側鑑定に対抗する専門家の意見書を出してきた。弁護団は再反論の鑑定書、意見書や新証拠を来年春にかけて提出する。いよいよ来年は事実調べ・再審開始にむけて最大の山場を迎える。

検察官は、かんじんの証拠を「不見当」とし、番号が飛んでいる証拠物の内容さえ明らかにしようとしていない。弁護団は、証拠物のない要を明らかにするよう証拠リストの提示を求めている。法的根拠と必要性を指摘した刑法学者の意見書も提出している。検察官は証拠リストを提示すべきである。

昨日、東京高裁第4刑事部で「東電女性社員殺人事件」の再審公判が行われ、検察官も無罪を主張し即日結審した。現場遺留物や被害者の付着物など新たなDNA鑑定で別の真犯人の存在が浮かび上がり、有罪判決の誤り、ゴビンダさんの無実が明らかになった。今回裁判所の勧告で開示された証拠物がもっと早くに開示され、科学的に検証されていれば、誤判からの救済はもっと早く実現されていたはずだ。

足利事件、布川事件、「東電女性社員殺人事件」とあいついだ再審無罪で明らかとなったの

は、検察官手持ち証拠の開示と科学的鑑定などの事実調べの必要性である。

東京高裁第4刑事部の小川裁判長は、まさにみずから関与した「東電女性殺人事件」の教訓を踏まえ、狭山事件において、証拠開示を積極的にすすめ、証拠リストの提示を勧告するとともに、弁護側提出の新証拠についての鑑定人尋問、脅迫状筆記インクについての科学的懸賞などの事実調べを一日も早く行うべきである。

狭山事件では38年前に東京高裁で2審有罪判決が出されてから一度も事実調べはおこなわれていない。来年には狭山事件発生、そして石川さんが冤罪に陥れられてから半世紀になる。東京高裁は一日も早く事実調べを行い、再審を開始すべきである。

わたしたちは、狭山事件の第3次再審請求で、徹底した証拠開示と開示された新証拠の事実調べを求める。そして、冤罪根絶にむけて、すべての冤罪者や支援者、司法の民主化を求める運動と連帯し、取調べの可視化や証拠開示の法制化を実現する闘いを全力ですすめる。冤罪50年を許さず、一日も早い狭山事件の再審を実現しよう！

2012年10月30日

狭山事件の再審を求める市民集会

参加者一同

東京における狭山最新実現の取り組み

狭山東京実行委員会と部落解放同盟東京都連は、来年いよいよ大きな山場を迎える狭山再審実現に向けて、地域組織の闘いを一層強化し、労働組合、民主団体と連帯して大きなうねりを作り出すこととしています。当面の取り組みとして、以下の行動を提起しています。

11.26 狭山東京実行委員会幹事会

(15:00 田町交通会館)

12.17 狭山東京実行委員会総会

(15:00 田町交通会館)

2013年

02.07 狭山事件の再審を求める三多摩集会

(18:30 立川女性総合センター『アイム』)

02.20 狭山事件の再審を求める東京集会

(18:30 台東区民会館ホール)

活動日誌

- 10. 06 アジア・アフリカ支援米（稲刈り）
（10：00 日野市）
- 10. 06～07 きれいな水といのちを守る合成洗剤
追放第 32 回全国集会（北海道・函館
市）
- 10. 10 東京平和運動センター常任幹事会
（16：00 田町交通ビル）
- 10. 13 さようなら原発集会
（13：30 日比谷野音）
- 10. 22 横田基地の整理縮小を求める三多摩
反戦集会（18：30 福生公園）
- 10. 30 狭山事件の再審を求める市民集会
（13：00 日比谷野音）
- 11. 04 オスプレイ全国集会
（14：00 芝公園 23 号地）
- 11. 09～11 「生命の尊厳」をもとに、原発も基
地もない平和な社会へー憲法理念の
実現をめざす第 49 回大会（山口市）

今後の日程

- 11. 21 部落解放・人権政策確立要求中央集会
（13：00～東京・星陵会館）
- 11. 21 脱原発を求める市民の声を届けたい
次の選挙で脱原発の都知事と議員の実を
めざす緊急院内集会（17：00 衆議国会館）
- 11. 22 原水禁原発問題学習会
（18：30～連合会館）11 月 29 日も
- 11. 23 東京の朝鮮学校を支援する都民集会
（18：00～東京・日本教育会館）
- 11. 25 風化させるな原発震災！脱原発福島
県民集会（10：00～福島・いわき市）
- 11. 26 狭山東京実行委員会幹事会
（15：00 田町交通会館）
- 11. 26 日朝国交正常化連絡会学習会（18：30～
東京・連合会館）
- 11. 28 再処理とめたい！ 経済産業省前行動
（18：30～東京・経産省別館前）
- 11. 30～12. 01
第 44 回食とみどり、水を守る全国集会
（大阪市）
- 12. 02～03
関東ブロック総会（東松山市）

- 12. 05 世界人権宣言 64 周年記念東京集会
（13：30～東京・日本教育会館）
- 12. 08 2012 もんじゅを廃炉へ！全国集会
（福井・敦賀市）
- 12. 11 不戦を誓う三多摩集会（18：00 立川市民会館）
- 12. 15 シンポ「改定入管法から半年、今何が
起きているのか？」（14：00～東京・韓
国 YMCA）
- 12. 15～16 できる！つくろう 原発のない社会
Nuclear Free Now（東京、郡山）
- 12. 16 第 46 回衆議院議員総選挙・第 22 回最
高裁判所裁判官国民審査・東京都知事
選挙投票日
- 12. 17 狭山東京実行委員会総会
（17：00 田町交通会館）

ご案内

「写真展・飯館村」にご協力を

2013年1月11日～14日

全労済ホール スペースゼロ（新宿西口）

東電福島第 1 原発の過酷な事故は、日本一美しいと言われた飯館村を高いレベルの放射能で汚染させました。そのため、4 月に全村避難となり 6,200 名もの村民が村を追われています。村びとの長谷川健一さんは現在まで 1 万枚の写真を撮り続けており、その写真には村びとの深い悲しみと怒りが込められています。

全国でこの写真展を開催していくための、カンパをはじめ協力が求められています。

【問い合わせ】

飯館村写真展実行委員会（代表 小林晃）

TEL 044 (987) 7951 080-3480-5090

✉ tanosii.maturi@yc4.so-net.ne.jp

日中正常化 40 周年
互恵平等の経済発展と平和なアジアのために
日中関係の打開を目指す都民集会

11月27日（火）18：30～

日中友好会館地下ホール

発言 孫崎 亨（元外務省国際情報局長）

吉元 政矩（元沖縄県副知事）他

主催 自主・平和・民主のための広範な国民
連合・東京（090-1853-5668）